

企業活動を取り巻く課題

～ 「キャリアオーナーシップ」 （経済産業省） ～

「個人の成長」と「企業の成長」について

- 「キャリアオーナーシップ」を持つ個人は、主体性を向上させ、自らの「持ち札」を増やすことでキャリアを切りひらいていく。一方で、企業や組織は、効果的な人材確保を通じて多様な人材が活躍する場を提供するプラットフォームとなることではじめて成長し続けることが可能になる。
- 個人の成長と企業の成長のベクトルを合わせることで、はじめて生産性の向上が実現可能に。これが「働き方改革第2章」で求められること。

